

共生 生命教育



小学校3～6年

道徳

総合

みんな生きていく 15分

ようこそ!赤ちゃん (2006年放送)

この番組の良さ



家族の大切さを再認識する

赤ちゃんを迎えるための準備に追われる河本家。「みんなで赤ちゃんを迎えたい」という思いから、家族全員で出産に立ち会います。もうすぐ生まれてくる赤ちゃんを心待ちにする兄弟の様子から、家族について深く考え、その大切さを再認識することができます。

自他の「いのち」を考える

「自分が生まれたとき、家族はどんな気持ちだったんだろう?」考えたことがありそうで、意外とないのではないのでしょうか。本番組は、だれもがかけがえのない存在であることに気づき、自他の「いのち」を大切にしていこうとする心情を養う効果的な資料として活用できます。

番組活用のポイント

家族とのつながりやかかわりを意識しながら

番組を視聴する前に、一番身近な存在である「家族」について考えるようにします。家族への感謝の気持ちや嫌だなあと思った経験、兄弟げんかなどについて話し合い、自分と家族とのつながりをより深く意識できるようにします。このことにより、家の手伝いや兄弟の世話をする長男泰佳君の言動や、生まれてくる妹を心待ちにする長女扇空さんの様子に共感し、番組で描かれている家族の様子を自分自身と重ね合わせ、「家族」や「いのち」について深く考えていくことができるようになります。

自他の「いのち」を大切にしようとする心情を高めていく

番組視聴後は、泰佳君の心情を追いながら、「いのち」の尊さについて考えていきます。赤ちゃんが生まれてくることに複雑な気持ちだった泰佳君が、「すごいよね、人間は」と語った理由について話し合い、生まれてくる「いのち」を目の当たりにしたときの心情を深く掘り下げていきます。そして、自分自身も望まれて生まれ、大事に育てられてきたことを感じるようにしていくとよいでしょう。ここでは、あらかじめ保護者をお願いしておいた「親からの手紙」を読むようにすると効果的です。

このようにして、だれもがかけがえのない存在であることに気づき、自他の「いのち」を大切にしようとする心情を高めていくとよいでしょう。

総合的な学習の時間、特別活動、生活科などへの広がり

本番組は、道徳の時間に視聴して終わるのではなく、「いのち」や「家族」についてより深く考え、より効果的な学習を行うために、実践的な活動や体験的な活動の場として、総合、特別活動、生活科などへ広げていくことも効果的です。

学習展開例

授業時間 45分

みんなかけがえのない「いのち」 「いのち」を大切にしよう



時間配分	学習活動	教師の支援
8分	① 家族について、日頃感じていることを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○「親、兄弟についてどう思いますか。」「家族の中で自分は大切にされていると思いますか。」などと問い、日頃感じていることを考え、家族とのつながりやかかわりを意識することで、本時のテーマへの方向づけをする。 ○親や兄弟がいない子がいる場合は、配慮する。
17分	② 番組を視聴しながら考える。 <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの誕生を待つ兄弟 ・赤ちゃんが生まれてくることを素直に喜べない泰佳君 (開始～4分27秒) </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・生まれてくる赤ちゃんのへその緒を切ってほしいと母に頼まれる泰佳君 (4分27秒～5分54秒) </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの誕生に立ち会う兄弟 ・赤ちゃんを家に迎える準備をする兄弟 (5分54秒～12分25秒) </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんを抱きながらうれしそうな表情の泰佳君 (12分25分～終わり) </div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○番組に集中するために、メモはとらせないようにする。 ○番組冒頭の、「みんなが生まれたとき、家族の人はどんな気持ちだったんだろう。」というナレーションの後に一時停止し、しばらく考える時間をとってから番組の視聴を再開する。 ○泰佳君が、赤ちゃんが生まれてくることを素直に喜べない場面(4分27秒)で一時停止し、泰佳君の気持ちを考え、共感できるようにする。 ○泰佳君が、母から自分のへその緒を見せられ、生まれてくる赤ちゃんのへその緒を切ってほしいと頼まれる場面や、兄弟で千博ちゃんを迎える準備をする場面、千博ちゃんを抱きながら泰佳君がとてもうれしそうな表情をする場面などのキャプチャー画像を黒板に貼り、泰佳君の心情の変容を追うことができるようにする。 ○家族の立ち会いのもと、赤ちゃんが生まれる場面や、「いのち」について「すごいよね、人間は」と泰佳君が語る場面、赤ちゃんを迎える準備を兄弟みんなでする場面などでは、感動や集中を途切れさせないために、一時停止をせず、番組の最後まで視聴する。 ○番組の終末、「みんなが生まれたとき、家族はどんな気持ちだったんだろう。」というナレーションについて考える時間を確保するため、視聴後すぐには話し合いに入らないようにする。
15分	③ 泰佳君の心情の変容について話し合う。 <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの誕生に立ち会い、「すごいよね、人間は」と感想を語る泰佳君 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○「赤ちゃんの誕生に複雑な気持ちだった泰佳君が、『すごいよね、人間は』と語ったのは、どういうことだろう。」と問い、「いのち」の尊さについて考えを深めていくことができるようにする。
5分	④ 事前に書いてもらった家族からの手紙を読む。 (「みんなが生まれたとき、家族の人はどんな気だったんだろう。」を受けて)	<ul style="list-style-type: none"> ○事前に書いてもらった家族からの手紙を読み、生まれてくることを心待ちにされていたことや、その後大切に育てられたことなどを実感し、自他の「いのち」を大切にしていこうという心情を高める。